

『キャリアデザインのための企業法務入門』

(MK・会社員)

新入社員の教育担当となり企業における一般的な法務部門の活動に関する入門書・概説書を探していたところ、過去にセミナーを受講したことがある先生が著者である本書が刊行されることを知り関心を持ちました。また、コンパクトな分量ながらテクノロジーと法務(第11章)・公共政策法務(第12章)といった点にも言及されているため、自分にとっても学び・気付き事項があるのではと考えました。

本書の使い方として、新入社員に業務レクチャーを行う際、どういった論点に触れるべきかを検討する際の参考として使用しています。また、今後は新入社員へも通読を薦めることを検討しています。

全体のページ数もさほど多くなく、本文も読みやすかったため入門書にはちょうど良いと感じました。また、参考文献等についても脚注として豊富に言及されているため、一歩進んだ情報・知識を得たいというニーズにも応えることができると思います。文字の大きさ・レイアウトとも特段気になるような点はなく、スムーズに読み進めることができました。また、巻末に索引がついている点も実用的と感じました。